

駅から街へ、街から駅へ



京日八東丸大有  
橋本重京の手楽  
橋洲駅内町町

# 東京エキマチ Vol. 16

2017.12.10号

東京駅と街がつながるフリーマガジン





表紙

エキマチには、笑顔で迎えてくれる温かいお店がたくさん！せっかくなので皆さんの笑顔を集めた表紙にしました。

Contents 2017年12月10日発行

# 東京エキマチ Vol.16

営業時間、休み、値段などの情報には変更が生じる場合があります。  
年末年始の休みについては各施設・店舗にお問い合わせください。  
誌面に表記されている料金は税込価格です。

27 読者の広場

20 裏エキマチ  
一気総ざらい！

18 東京地下道探検隊

16 ○○が好き  
外国人のお客さまは

14 楽しき専門店の世界

8 エキマチの美しき日本  
大人の居酒屋  
心身共に憩う純喫茶  
0円で遊ぶという贅沢 無料スポット  
ある意味日本ならではの建築美 路地・高架下  
食べるのがもったいない!? 美しき和グルメ



# 4 ようこそ

特集

# 東京エキマチへ！



- 22 駅・街・鉄道 information
- 24 東京駅構内MAP
- 25 便利な無料巡回バス
- 25 都心部路線図
- 26 東京エキマチMAP

## 読者プレゼント

応募締切◎2018年2月10日必着

東京エキマチ  
バックナンバー  
エキマチ全号セット

東京ステーションシティ  
「東京エキマチ」バックナンバー  
全号セット 5名様

通常は1冊限定のバックナンバープレゼントを、今号に限りP2に掲載されている全冊(vol.1～vol.15)をセットにしてご提供。これからも「駅から街へ、街から駅へ」をテーマに、コアな情報を発信していきますので、応援よろしく願っています。内容は東京ステーションシティのホームページでも確認できます。

<http://www.tokyostationcity.com/>

### 応募要項

- ハガキに 1.お名前(ふりがな) 2.年齢 3.性別 4.ご職業 5.郵便番号とご住所 6.電話番号 7.プレゼント名 8.アンケートの回答を明記の上、郵送してください

#### 送り先

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-3-11

NBF御茶ノ水ビル7階

(株)交通新聞社 コミュニケーションデザイン事業部  
「東京エキマチvol.16」係

### アンケート

- Q1: vol.16で一番面白かった記事・コーナーは？
- Q2: vol.16をどこで手にとられましたか？
- Q3: 「東京エキマチ」(過去を含む)を読んで、実際に行かれたおすすめのお店・施設を教えてください
- Q4: ご意見・ご感想



スマートフォン、タブレットからの応募はこちらから

\*ご記入いただいた個人情報は「当選者へのプレゼント発送」以外の目的では使用いたしません。またアンケートの内容は「東京エキマチ」内「読者の広場」の誌面作り及び、冊子制作の参考にさせていただきます。\*当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

歴史も最先端も共存  
進化し続ける東京の玄関口

ようこそ

東京エキマチへ！



東京駅丸の内駅舎は、1945年の戦災により南北のドームや屋根が焼失。戦後、復興により2階建てになるが、2012年の保存・復原工事で、1914年（大正3）に造られた3階建てのかつての姿に。12月7日に完成を迎えた丸の内駅前広場には、記念撮影をする観光客も多く訪れる。

MAP P26 B-2

丸の内、大手町、有楽町、八重洲、日本橋、京橋、そして東京駅。

歴史や伝統だけでなく、和洋新旧すべての要素が入った東京エキマチ。この多彩な顔を持つエリアだからこそ、見えない場所にも新しい発見があり、知らない場所でも、あたたかな出逢いがあります。ようこそ東京エキマチへ



重要文化財に指定されている丸の内駅舎内にあり、東京駅の歴史が感じられる「東京駅ギャラリー」。東京駅下車。10:00～18:00（金曜は～20:00）、月（祝日の場合は火）休。展示により料金変動・展示替え期間休 ☎03・3212・2485 MAP P26 B-2



国産クラフトビールにこだわる「クラフトビアバル IBREW」。その日に味わえる10種類の地ビールを毎日ボードに掲出。銘柄にかかわらず230ml 421円、410ml 745円。銀座一丁目駅下車。15:00～24:00（土・日・祝日は13:00～22:00）、無休 ☎03・3281・6221 MAP P26 C-2



1. 高知県の芋菓子メーカーによる芋菓子専門店『日本橋 芋屋金次郎』。「揚げたて芋けんぴ」1袋500円は、揚げ油にオリーブオイルを使った日本橋限定品。三越前駅下車。10:00~21:00、不定休(コレド室町2に準ずる)。  
☎03・3277・6027 MAP P26 A-3

2. 銀座の街でまだまだ現役でがんばる「銀座湯」。タイル絵が印象的で、女湯は隅田川の花火、男湯は銀座の夜景。入浴料は460円。宝町駅下車。15:00~23:00、日・祝日休。☎03・3561・2550 MAP P26 C-2

3. 「羅かん」のおでんは、あっさりだし味の関西風「すまし」と羅かんオリジナル味噌味の「にがり」の2種類。おまかせ5品盛り合わせ1600円。東京駅下車。11:00~22:00LO、無休。☎03・3287・1981 MAP P26 B-2

4. 30種類以上の江戸和菓子が詰まった「富貴寄」が「銀座菊通舎」の看板。「特撰缶JAPAN(小缶)」2700円。東京駅下車。9:00~20:30(土・日・祝日は~20:00)、不定休(TOKYO Me+に準ずる)。  
☎03・3212・1086 MAP P26 B-2

5. 有楽町と新橋間のガード下にある「有楽町産直飲食街ぶなか横丁」。地方の生産者から届く、山海の幸や郷土料理が味わえる。銀座駅下車。24時間営業(一部店舗は異なる)。  
MAP P26 C-1

6. 街を見渡す「東京會館 銀座スカイラウンジ」の回転レストランで、名物マロンシャンテリセット1730円~(サ別)を。有楽町駅下車。ティータイム14:00~17:00、無休。  
☎03・3212・2775 MAP P26 C-1

7. 「東京うりずん」は70種の沖縄家庭料理や泡盛古酒が揃う。大手町駅下車。11:00~14:30LO・17:00~翌0:50LO(日・祝日は~21:50LO)、不定休(新丸ビルに準ずる)。  
☎03・5224・8040 MAP P26 B-1

8. 「味噌汁最中」248円はおみやげに最適。「味噌汁専門店 美噌元」。東京駅下車。10:00~21:00(日・祝日は~20:00)、不定休(KITTEに準ずる)。  
☎03・6256・0831 MAP P26 B-1

9. 杉の本柱118本をランダムに配して「はやし」をイメージした「雪月花-カフェ京橋店」。癒やしの空間だ。宝町駅下車。7:30~19:00、土・日・祝日休。  
☎03・3561・6310 MAP P26 C-3



1830年(天保元)創業の江戸箒専門店「白木屋傳兵衛」。江戸手箒「極上」1万800円など、職人手作りの箒が揃う。宝町駅下車。10:00~19:00、日・祝日休  
☎03・3563・1771 MAP P26 C-2



心身共に憩う  
純喫茶

首都東京の中心に位置するエキマチには「これぞ日本の様式美」と言えるものたちが数多く存在する。情緒と哀愁にあふれる「渋谷酒場」、古き良き昭和を感じる「純喫茶」、ホスピタリティとサービス精神に満ちた「無料スポット」、いかなる空間も無駄にしない、という工夫を感じる「路地」や「高架下」。そして細部にまでこだわりぬいた美しき「和グルメ」。エキマチだからこそ見つけられる。日本のストロングポイントを、十分に堪能してみよう。

エキマチの  
美しき  
日本

大人の  
渋谷酒場



喫茶 ストーン

1966年創業。有楽町ビジネスパーソンの憩いの場。初代店主の実家が石材店だったことから、ショールームも兼ねてこの内装に。デザインはインテリアデザインの学校を卒業したばかりの方に、縁あって依頼。壁には国会議事堂にも使われたという御影石を使い、床は職人が一枚一枚手で割った大理石をモザイクのようにちりばめた。当初は白かったという御影石の壁の色の变化が、半世紀にわたる時の流れを感じさせる。

きさき ストーン◎JR有楽町駅日比谷口または中央西口徒歩1分。8:00~20:00 (土は11:30~18:00、日・祝日は11:00~18:00)、無休・12月29日~1月3日休。千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルディング1F ☎03・3213・2651  
MAP P26 C-1



創業当時に使用していたレトロなキャッシャー (写真左)。バナナとパイナップルの「フルーツサンド」640円。オレンジジュース690円 (写真右)。

木の温もりにあふれた店内。ジョンとヨーコが座ったのは入り口付近 (写真下)。コロンビアコーヒーと手作りクッキーの「レノンセット」980円 (写真右)。



Flor de Café 銀座 樹の花

華やかな銀座の端にある交差点の角地、狭い階段を上った先にある隠れ家的カフェ。今から38年前、店のオープンからわずか4日後に偶然この店を見つけてふらりと訪れたのは、ジョン・レノンとヨーコ夫人だった。2人が座った席は今も使用されており、空いていれば座ることができる。ジョンにちなんだメニューのほか、手作りスイーツやインド人直伝のスパイスカレーも評判。

フロールドカフェ ぎんざ きのはな◎地下鉄東銀座駅A4出口徒歩3分。10:30~20:00 (木・金は~23:00、土・日・祝日は12:00~23:00、12月28日は~17:00、1月5日は12:00~)、日休・12月29日~1月4日休。中央区銀座4-13-1 飯沼ビル2F ☎03・3543・5280  
MAP P26 C-2

東京駅地下にありながら、山小屋のような雰囲気。店内、斜めに走る天井が印象的 (写真下)。モーニングセットドリンク付き500円 (写真右)。



アロマ珈琲

自家焙煎の豆をサイフォンで淹れるコーヒーの芳醇な香りに誘われて、昼夜を問わず賑わう老舗喫茶。早朝の開店時間よりも早く顔を出す常連たちのお目当ては、分厚いトーストにゆで卵、バターとジャム、あんこまで付く名物のモーニング。地下駐車場に入るスロープの真下にあることから、レジ周辺の天井が斜めに。半地下造りで階段があるユニークな造りもこの店の魅力。

アロマコーヒー◎JR東京駅八重洲中央改札口徒歩5分。7:00~21:30 (土は7:00~21:00、日・祝日は7:30~21:00、12月31日と1月2日は~18:00予定)、1月1日休。中央区八重洲2-1 八重洲地下街中4号 ☎03・3275・3531  
MAP P26 B-2

¥鯛648円など食材のほとんどを築地で調達 (写真左)。味わい深い一枚板の檜のカウンター (写真中)。2代目にあたる店主がお燗番を務める。樽から搾る「菊正宗」はふくよかな香り (写真右上)。



通人の酒席 ふくべ

角のとれたカウンターに、黒くすすけた趣のある壁。創業から約80年。東京の玄関口・八重洲で変わらずに、長く愛されてきたその証が、店のそこかしこに刻まれている。日本酒は41種。「菊正宗」の樽酒をぬる燗でぜひ味わいたい。日本酒ビギナーでも心配はご無用。店主を含め、通人たちが優しく指南してくれるはず。酒好きのうんちくに耳を傾けながら、つつい杯が進んでしまうこと間違いなし。

つうじんのしゅせき ふくべ◎JR東京駅八重洲北口徒歩5分。16:30~22:15LO (土は~21:15LO)、第2・4土・日・12月30日~1月4日休。中央区八重洲1-4-5 ☎03・3271・6065  
MAP P26 B-3



ハタハタ屋敷

幻の魚と称される、秋田の冬の伝統食材「ハタハタ」。12月の短い漁期に入荷する貴重な生のハタハタを心待ちにしているファンも多い。「ぶりこ」と呼ばれる卵を抱えたメスはプリプリとした食感が小気味よく、一度食べたら忘れられない病みつき味の味。きりたんぼの材料を玉状にした「だまこ鍋」なる秋田の家庭の味も堪能できる。秋田色満載の店内で、ぜひ小旅行気分を。

ハタハタやしき◎地下鉄有楽町線銀座一丁目駅2番出口徒歩1分。11:30~14:00LO・17:00~22:00LO、不定休 (銀座インズ2に準ずる)・12月31日~1月1日休。中央区銀座西2-2 銀座インズ2 B1 ☎03・3535・5253  
MAP P26 C-2



別亭神田新八

常時50種類以上の日本酒を揃え、お燗番がいる希少な店。席に座るなり、いきなり熱燗という常連さんも多い。美容に良いといわれる酒粕を使った料理も充実しており、熟成させた「神亀」の酒粕を使ったグラタンや、同じく「神亀」の酒粕に漬込んだクリームチーズなども人気。毎年最終営業日にはお酒が飲み放題になる「感謝祭」が恒例になっている (詳細は要問い合わせ)。

べっぴんかんだしんばち◎地下鉄銀座線京橋駅3番出口直結。11:00~14:30 (土は11:30~)・17:00~22:00LO (土は~21:00LO)、日・祝日・12月30日~1月4日休。中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデンB1 ☎03・5542・1848  
MAP P26 C-2

牡蠣と下仁田ネギの酒粕グラタン1380円。クリームチーズと味噌汁の酒粕漬け840円 (写真左)。お燗番の絶妙な温度管理が日本酒特有の香りを引き立てる (写真右)。



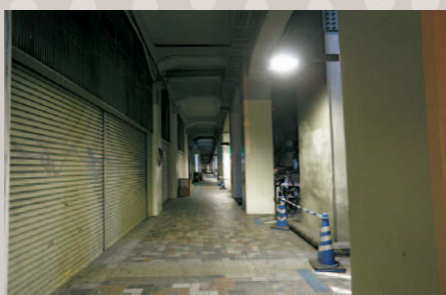
神田駅と東京駅の間で、千代田区と中央区の区境でもあるガード下の「今川小路」。かつて賑わいを見せた飲み屋も今は数軒に。それでも夜にはいくつかの看板に灯がともり、真上を走る電車と相まって絶妙な風景を生み出している。 MAP P26 A-2

## 路地・高架下

ある意味日本ならではの建築美



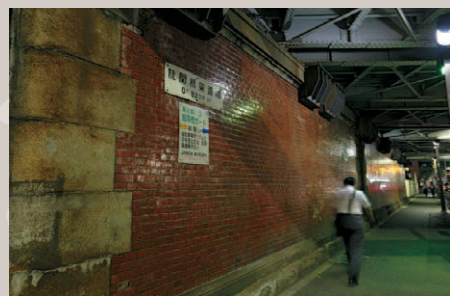
有楽町駅の北東側にある「有楽町高架下センター商店会」には、飲み屋やカレー屋など、親しみやすい雰囲気飲食店が並ぶ。 MAP P26 C-1



神田駅の南口から東側を東京駅に向かい、ガード沿いに歩いて神田川を越えると、寂しい雰囲気。東京駅のすぐ北とは思えない風景だ。 MAP P26 A-2



丸の内オアゾと丸の内センタービルの隙間を縫う細道には街灯がない。代わりに足元のフットライトが、仄暗い路地をほんのり照らす。淡いブルーの光が点々と続く光景は、まるでSF映画の中に紛れ込んだような幻想的な世界だ。 MAP P26 B-2



かつて近くにあった龍閑橋から名前を取った「龍閑橋架道橋」。神田駅から南に位置し、駅周辺の賑やかさが途絶え、不思議な静けさに満ちている。 MAP P26 A-2



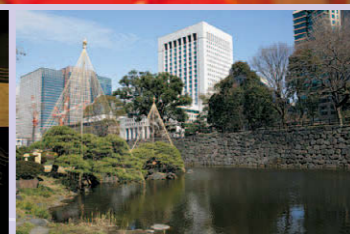
有楽町駅から線路沿いを新橋方面に歩くと、もくもくと煙が立ち込めるアーチ状のガード下に行き当たる。「登運とん」や「ふじ」など、老舗モツ焼き店が集まる屋台路地は、人呼んで「けむり横丁」。頭上には新幹線と山手線が往来。 MAP P26 C-1



## 日比谷公園

1903年(明治36)に開園した日本初の近代的な洋風公園。園内は、西洋文化の象徴「洋花」「洋楽」「洋食」を取り入れ、海外諸国の様子を踏襲しながらも、日本庭園の手法も織り交ぜ、和魂洋才を込めて設計。S字形の園路を軸に、池や樹林、花壇、芝生などが配され、音楽堂やレストラン、図書館など多彩な施設を備える。開園当初に植えられた苗木たちは110余年の時を経て、高さ10~15mもの大樹に育っている。

ひびやこうえん◎地下鉄日比谷駅A10出口すぐ。千代田区日比谷公園 ☎03・3501・6428(日比谷公園サービスセンター) MAP P26 C-1



日比谷図書館内のカフェ「Library Shop&Café Hibiya」では東京や江戸、日比谷関連の本に加え、文具の販売も(写真上、カフェ利用は有料)。千代田区の歴史を学べる「千代田区立日比谷図書文化館 常設展示室」(写真下左)。江戸時代の堀を巧みに活かした心字池(写真下右)。

1階の店頭営業室は吹き抜けになっており、古典的意匠が施されている(写真左)。昭和初期の色香を漂わす石造建築(写真右)。



## 明治生命館(旧 第二号館)

当時珍しかったレンガ造りの三菱第二号館は1895年(明治28)に竣工。1918年(大正7)から明治生命(現・明治安田生命)が本社として単独使用を開始。現存の建物は1934年竣工の2代目。大型の石造建築で、昭和建築としては初めて国の重要文化財に指定された。現在も本社ビルとして活用。古典的意匠が施された店頭営業室、戦後の対日理事会の舞台となった会議室など、歴史的価値の高い部屋が見学できる。

めいじせいめいかん(きゅう だいにごうかん)◎JR東京駅丸の内南口徒歩5分。16:30~19:30(土・日は11:00~17:00)、月・火・12月31日~1月3日休。千代田区丸の内2-1-1 ☎03・3283・9252 MAP P26 B-1

明治期の執務室の面影が漂う(写真左)。実物の40分の1の模型はバルコニーのハトなど、細部にこだわりがあるので、よ〜くご覧あれ(写真右)。



## 三菱一号館 歴史資料室

1894年(明治27)に竣工した旧三菱一号館。老朽化による解体(1968年)から40年余りの時を経て復元され、2010年春に美術館としてよみがえった。美術館に併設された歴史資料室では、建築当初の図面のコピーや写真、映像や再現家具、ファッションなどから、建設当時のオフィスの雰囲気が体感できる。40分の1サイズのミニチュア模型(写真右)には、かつて銀行営業室に飾られていたというおかめの面まで忠実に再現されている。

みつびしいちごうかん れきしりょうしつ◎JR東京駅丸の内南口徒歩5分。10:00~18:00、月・12月29日~1月1日休(展覧会会期中の祝日・会期最終日は開館)。千代田区丸の内2-6-2 ☎03・5777・8600(ハローダイヤル) MAP P26 B-1

食べるのがもったいない!  
**美しき和グルメ**



**すし 青柳**  
 国重要文化財・東京駅丸の内駅舎内に位置する東京ステーションホテル2階。駅構内にありながら静かで涼とした空間で味わえるのは、全国から選りすぐりのネタを集めて握る極上寿司。江戸前のひと仕事を施した寿司は、素材のよさを際立たせる。味わいはもちろん見た目の美しさも秀逸だ。ランチのすしコースは「松」7128円と「竹」5702円(共に税込)の2種。いずれも先付、握り10貫に巻物、赤出汁、水菓子がセットになっている。  
 すし あおやぎ◎JR東京駅丸の内南口直結。11:30～14:30LO・17:30～21:30LO、1月4・5日休。千代田区丸の内1-9-1東京ステーションホテル2F  
 ☎03・6269・9428 **MAP P26 B-2**

宝石箱のような美しさ



特選ネタを味わい尽くすランチの看板メニュー「松」。また、1日の提供数はごくわずかだが、ばらちらし3801円(税込)も秀麗な一品だ。



観光客はもちろん、出張ついでにわざわざ立ち寄る人も多いという。大江戸天丼は1日100食出ることもあるという人気メニューだ。



神々しく  
 そびえる天ぷら

**天ぷら 天喜代**  
 そびえ立つアナゴが特徴的な大江戸天丼1800円。冬バージョンには、アナゴ、エビ、カキ、さつまいも、下仁田ねぎ、レンコン、明太子マヨネーズと、贅沢に野菜や魚が盛り付けられている(季節による具材と金額に変更あり)。地方から来た人にも喜んでもらえるよう、スカイツリーを意識して開店当初に考案した一品。紅花油でしっかりと揚げられた天ぷらに、宮内庁御用達のたまり醤油を使ったタレがかかり、まろやかさと甘みを感じられる。  
 てんぷら てんきよ◎JR東京駅八重洲中央口徒歩1分。11:00～22:00LO、無休。千代田区丸の内1-9-1 グラブルーフB1 ☎03・6269・9926  
**MAP P26 B-2**

そばでこそ味わえる  
 わびさび



**日本橋やぶ久**  
 そば粉10、つなぎ2の割合で打ったのどごしのよい外二そばを提供する創業1902年(明治35)の老舗。甘みのあるしなやかなそばは、北海道産のそばと香りのよい茨城県産のそばをブレンドしたもの。出汁には香りが飛びにくい厚削りの本枯れ節と宗田節を使用し、風味を出す。天ざる1728円のほか、つけカレーせいろ1080円も人気。だしの中にも際立つスパイシーな風味がやみつき。  
 にほんばし やぶきゅう◎地下鉄日本橋駅B7出口徒歩1分。11:00～15:30LO・17:00～22:30LO(土は～21:00LO)、日・祝日(12月23日は営業)・1月1～3日休。中央区日本橋2-1-19 ☎03・3271・0829  
**MAP P26 B-3**

一面のカニに  
 圧倒される



自宅で味わいたいときは、お弁当を購入しよう。お土産(約2人前)2500円でいただく際、ごま山椒をお忘れなく。



**日本橋かに福**  
 1970年創業のカニ料理専門店。刺身、唐揚げ、茶碗蒸しなど、お値打ちなカニ料理のうちでも、特におすすめの「御かにめし」ランチ(普通)1800円は、だし炊きのごはんに、ズワイガニをたっぷりのせた名物料理。カニ味噌や薬味のをせたり、だしをかけて茶漬け風にしたり、何度も違う味わいを楽しめる。また、旬の食材を使った季節の会席や、焼きたらば、かにすきなど、会席料理は3日前までに要予約。  
 にほんばしかにふく◎地下鉄日本橋駅B9出口徒歩2分。11:00～14:30LO・17:00～22:00LO(土・日・祝日は11:00～23:00)、月休(年末年始は営業、要確認)。中央区日本橋1-2-2 親和ビル1F ☎03・3231・8686  
**MAP P26 B-3**

食欲をそそる  
 黄金色



ランチはアジフライ一本に絞っているという、こだわりよう。開店前から行列必至なので、早めの時間に来店するのがいいかも。



**京ばし松輪**  
 ランチ激戦区の京橋エリアで働く舌の肥えたビジネスパーソンを魅了してやまない地魚料理店。三浦半島の松輪漁港から直送された新鮮な素材が自慢だ。70食ほど用意する昼の「アジフライ定食」1300円は売り切れごめんの人気メニュー。生きたままアジを開き、下味をつけ10時間寝かせることでふっくら上品に仕上げている。ワサビと大根おろしに醤油を垂らし、別注の自家製ゆずこしょう(+100円)のをせれば、ぐんと旨味が増す。  
 きょうばしまつわ◎地下鉄銀座線京橋駅2番出口徒歩すぐ。11:30～売り切れ次第終了・17:00～23:00(土は～22:00、夜はコース5400円～のみ)、日・祝日休(年末年始は要確認)。中央区京橋3-6-1 秋葉ビルB1 ☎03・5524・1280  
**MAP P26 C-2**



天ざるの天ぷらは、エビ2本、ナス、かぼちゃ、ししとう、しいたけ。つゆは濃いめ(からめ)で、ミツバとゆずの皮が入る。

甲冑



**国内外からも高い評価を得る甲冑**  
**甲冑専門 紀の国屋**  
 国内でも少ない甲冑専門店。江戸時代、安土桃山時代、室町時代の兜や刀装具、馬具などはどれも見応えがある。武具は漆の乾燥に気をつけるだけで特別な手入れが不要とあって、ヨーロッパなどの古美術品愛好家からも注目を集める。また、海外では投資目的で購入する人も少なくないという。そのため、店内はいつも海外から訪れた甲冑ファンで賑わっている。また、家で眠る甲冑の買取査定なども行ってくれる。  
 かっちゅうせんもん きのくにや◎JR東京駅八重洲北口徒歩1分。10:00～17:30、日・祝日・12月29日～1月4日休。中央区八重洲1-6-15 登代田ビル3F ☎03・5202・8688 MAP P26 B-2



兜5万円～はもちろん、采配3万5000円～や扇、弓などの小道具も幅広く取り揃えている。



印鑑



ボタン

1枚の白蝶貝からできるボタンは、わずかこれだけ(写真右下)。ハート型の水牛ボタン1620円～(写真下)。



**ボタンの力で装いの可能性を広げる**  
**ミタケボタン**  
 創業70余年のボタン専門店。店内には、国内メーカーおよびイタリアを中心とした海外メーカーからも大きさや彩り、デザインも様々なボタンがズラリと並ぶ。また、オリジナルボタンの企画、製造も行っている。シンプルなフォーマルウェアも、装飾を施したボタンにするだけで華やかな場でも映えるものになる。つけるボタンの数と生地厚さのバランスが大事なので、洋服を持参して合わせながらボタンを選ぶのがベストなのだろう。  
 ミタケボタン◎地下鉄有楽町線銀座一丁目駅3番出口徒歩2分。10:00～19:00、日・12月30日～1月4日休。中央区銀座1-5-1 第3太陽ビル501 ☎03・3563・0061 MAP P26 C-2



「ここで見つけれない」「●●」が、たくさんあるのが、専門店の楽しいところ。日常的に目にするモノながら、驚くほど精緻なものが見つかったり、日常的にはほとんど見ることのない珍しいモノをじっくり眺められたり……。その深遠なる面白さにじっくりと浸りたい。

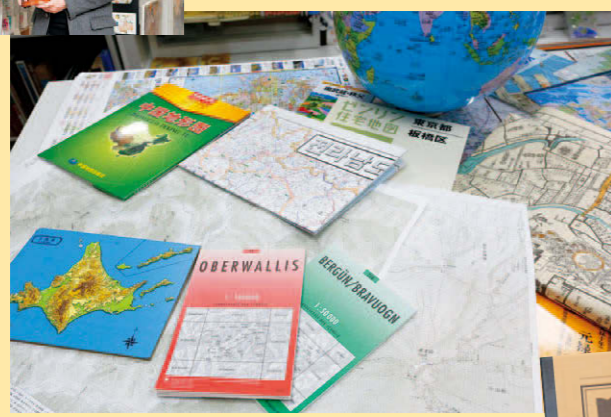
「ここにはしかない」  
 こだわりの逸品を探したい  
**世界 専門店の 楽しき**

地図



歴代徳川将軍が用いた「花押」(写真左)など、この店の歴史を語る貴重な史料も。

**歴史との縁深き老舗の印章店**  
**佐々木印店**  
 もともと徳川家御用達の御印判師として仕え、将軍や御三家、御三卿、諸大名の印章を手がけてきた店。今でいう注文書や御用日誌など貴重な史料が保管されている。印鑑は用途と黒水牛、白水牛、象牙などの中から希望の素材、制作期間によりデザインを決めていく。天然素材は一本一本風合いが異なるため、気に入ったものを見つけるのも楽しい時間になる。柘植小判認印は2字で2268円～相談可。  
 ささきいんてん◎地下鉄三越前駅A8出口徒歩3分。9:00～18:00、土・日・祝日休(年末年始は要確認)。中央区日本橋室町4-3-3 ☎03・3241・0211 MAP P26 A-3



**「!」が見つかる奥深き地図の世界**  
**ぶよお堂**  
 地図専門の出版社が営む店。国土地理院による地形図を始め、世界の1000個以上の海外地図のほか、古地図や地図関連グッズなど、バラエティ豊かに販売。おすすめは伊能忠敬の測量復刻図全セット2万1600円。50代半ばから測量で全国を歩いた忠敬の姿に影響され、ウォーキングを始めるシニアも多いのだとか。2018年1月5日より、店舗スペースを拡大してリニューアルオープン。品揃えもこれまで以上に充実する。  
 ぶよお堂◎地下鉄日本橋駅B1出口徒歩2分。10:00～19:00、土・日・祝日・12月28日～1月4日休。中央区日本橋3-8-16 ぶよおビルB2 ☎03・3271・2410 MAP P26 B-3



地図記号がマスターできる「地図記号式地図力検査ノート」389円などグッズも充実。

かつおぶし

**プロ御用達の本格鰹節専門店**  
**日本橋鰹節専門店 大和屋**  
 江戸時代末期創業の老舗。最上級の本枯れ節から気軽なだしパックまで取り揃え、プロの料理人から一般客まで、幅広い客層に支持されている。削り節パックは自社工場での削り、パッケージングしているため鮮度は抜群。だし用、サラダ用、ごはん用など様々な場面で活用できる。本枯れの鰹節を細かくして、袋に入れた「おふくろぶし」880円～は1袋で1杯分の本格的なだしを気軽にとることができる。削り器付きのギフトセットも用意。  
 にほんばしかつおぶしせんもんてん やまとや◎地下鉄三越前駅A1出口徒歩1分。10:00～18:00、日・祝日・12月31日～1月4日休。中央区日本橋室町1-5-1 ☎03・3241・6551 MAP P26 A-3



爪楊枝



看板商品「千両箱」756円～は、楊枝を「金千両」と記した桐箱に納めている。



**香り豊かな黒文字楊枝でおもてなし**  
**日本橋さるや**  
 江戸時代から300年以上続く楊枝専門店。外壁の白色とのれんの藍色が、深い江戸の粋を漂わせる。クスのキ科の「黒文字」という樹木から作られる楊枝は、弾力性があり先端が割れにくく、折ると清涼感ある香りを放つ。季節感や色彩感にあふれたちりめんの楊枝入れ972円～は、女性や外国人観光客などにも人気が高い。2018年に向け、干支の戌を描いた桐箱に入った黒楊枝は、お年賀はもちろん、お土産や内祝いにも喜ばれる。  
 にほんばしさるや◎地下鉄三越前駅A1番出口徒歩5分。10:00～18:00、日・祝日・12月30日～1月3日休。中央区日本橋室町1-12-5 ☎03・5542・1905 MAP P26 A-3



削りたての鰹節は、ふわりと口の中ですとけるような食感(写真上)。「おふくろぶし」や「ウォーキング昆布」はお土産にも最適(写真右上)。







龍馬像が出迎える入り口は記念写真スポット。



高知のお酒で盛り上げてください!



おかめ、ひょっとこ、天狗の杯にコマが付いた可杯セット2484円。



ハブが丸ごと1匹入った迫力満点のハブ酒。



銀座で活気あふれる沖縄を体感できます!



サプライズなお土産にハブ酒はいかが?

沖縄県アンテナショップ 銀座わしたショップ本店

とぐろを巻いて牙をむき出した迫力ある絵面がインパクト大! 水だけで100日以上生きるといふ生命力みなぎるハブの旨味成分エキスがたっぷり溶け出したハブ酒がお土産に大人気。漢方にも使われるハーブ13種類をブレンドして漬け込んだ泡盛がベースとなっているため、滋養はもちろん、香りも豊かなカラダにやさしいリキールなのだそう。ハブなしのハブ酒は3369円。ハブ入りは1万3068円と高価にもかかわらず、こちらの方がダントツ人気というもうなげず。

ぎんざわしたショップほんてん◎地下鉄有楽町線銀座一丁目駅3番出口徒歩1分。10:30~20:00 (12月31日・1月2日・3日は~18:00)、1月1日休。中央区銀座1-3-9 マルイ銀座ビル1F ☎03・3535・6991 MAP P26 C-2



1階は市場。

※ハブが不足しているため「ハブ入りハブ酒」の入荷がない場合があります。予めご了承ください。

お酒を楽しく飲みかわす伝統の可杯

高知県アンテナショップ「まるごと高知」土佐のお座敷遊びをご存知ですか? 可杯と呼ばれる、飲み干すまで下に置くことができないという、楽しく飲むことが大好きな人が多い土佐ならではのユニークな杯を用いて繰り広げられるゲーム。杯は飲み干さないと置けない不安定な形をしていたり、底に開いた穴を指でふさいで飲み干すまで置けないものも。回したコマの軸の正面に座っている人は、コマの絵柄の杯でお酒をグイッと飲み干しちゃう。大勢でにぎやかに飲むことが好きな土佐の伝統的な酒席遊びで盛り上げてみては。

こうちけんアンテナショップ「まるごとこうち」◎地下鉄有楽町線銀座一丁目駅3番出口徒歩1分。10:30~20:00 (12月31日・1月2日~4日は~18:00)、1月1日休。中央区銀座1-3-13 オーププレミア1F ☎03・3538・4365 MAP P26 C-2

エキマチは、アンテナショップの密集地帯。全国各地の名品が揃うゆえ、外国人のお客さまも多く訪れる。皆さんはどんなものを買っているのだろうか。目の付けどころが違うかも!?

〇〇が好き

外国人のお客さまは

アンテナショップに聞きました



地下1階は琉球伝統の工芸品が並ぶ。

バーラウンジは高岡漆器でもお楽しみいただけます



杯 金桜(朱)5400円。

ワンフロアにショップやレストラン、バーラウンジも。

(左から時計回りに) 9720円、2376円、3240円。



長野県の物産品およそ800点を販売しています



銀座のど真ん中にありモダンなお洒落な雰囲気。



金魚ちょうちん大2300円、中1600円、小1200円。

本物のフグを使った「ふくちょうちん」も人気!



山口の魅力がぎゅっと詰まった店内。

金魚ちょうちんの変くるしい姿にほっこり

おいでませ山口館

「おいでませ山口館」の店内に入ると、天井にぶらさがっていくつも赤い金魚がゆらゆらゆらとお出迎え。柳井でつくられているこの山口を代表する民芸品が「金魚ちょうちん」だ。竹ひごと和紙でつくられているというこの金魚は、愛嬌のある真ん丸なお目々とぶっくりとしたその姿がどこかユーモラス。風鈴のように軒先に吊るしてゆらめく風情を眺めていると、気持ちもほっこりしてくるはず。「金魚ちょうちんの町」として知られる柳井の夏は金魚ちょうちんの灯りで真っ赤に染まるのだとか。

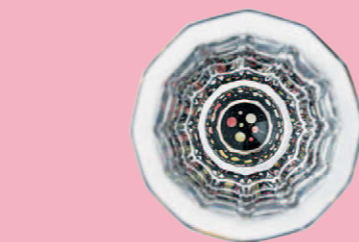
おいでませやまぐらん◎地下鉄日本橋駅B3出口徒歩2分。10:30~19:00 (12月30日は~15:00)、12月31日~1月3日休。中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル1F ☎03・3231・1863 MAP P26 B-3

普段のお酒がぐんと華やかになる高岡漆器

日本橋とやま館

江戸時代から漆器の産地として名高く、現代のライフスタイルに合わせて進化してきた高岡漆器。さまざまある漆器の中でも、伝統的な漆とガラスを組み合わせ職人技が光る酒器が人気。底に螺鈿細工が施された漆を組み合わせガラスは、真上からのぞきこむと、螺鈿の模様がガラスに反射してまるで万華鏡のよう。そこへ日本酒を注げば、さらに華やかな万華鏡の世界が広がっていく。お酒の味もより一層おいしく感じるとおみやげに大人気。

にほんばしとやまかん◎地下鉄三越前駅B5出口すぐ。10:30~19:30、12月31日~1月2日休。中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル1F ☎03・6262・2723 MAP P26 A-3



金杯(万華鏡)水玉(黒) 8640円(画像左)、万華鏡グラス 金桜(貝入・黒) 1万800円(画像右)。



# 東京地下道探検隊

隊長兼探検員：かとうとある  
 なんと、大手の駅から東京駅を経て銀座駅まで... 地下道だけを歩いて行けるという、ホントかどうかわからない「東京エキマチ」をたよりに歩いてみました。

半蔵門線大手の駅、千代田線大手の駅を通り、都営三田線の手前の駅をめざす！

この地下道がながいのだ。  
 おなじ大手の駅だけで、丸の内線と三田線間のホームは最大で595mも離れているという。

JR東京駅へ。柱と一体化した謎のキャタクターが！

顔は...コレ!!

「ふくむちゃん」といっしょいっしょ。

八重洲地下街へ。縦横に通路が交差。さしてたくさんのお店、店々人々... まるで迷路だ！

本気で迷子!!

気づけば40歳にして...

さらに所々に地下の地下(B2階)への入り口があり、B2階には床屋やクリニックなどがあつた。

迷ったので案内所まで道をまわす。

駅員さんに道をまわす。

敬言、備員、せんにも道をまわす。

以前の「エキマチ」の取材で来たカレーショップ「アルプス」を再訪。八重洲地下街(B1階)

カレーマニの行列!!

カツカレー、470円、うまい!!

カツカレーはやはり自取強タッグだ!

木曜日は大盛り無料、サビデ、店長さん

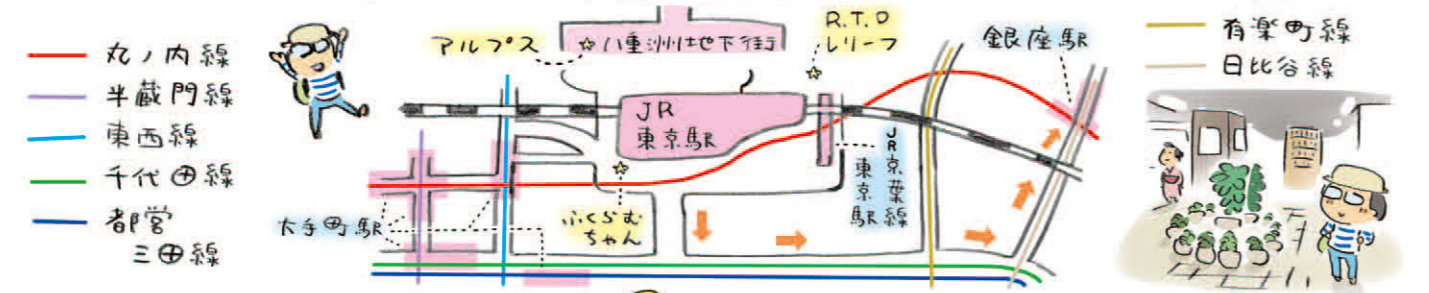
JR京葉線東京駅へ。壁に巨大な日本地図などが、R.T.O.レリーフ

写真とくらべて... 実物はやっぱり下かい!

また戦後間もない頃、進駐軍の鉄道司令部「R.T.O.」の待合室に施された石膏レリーフ。進駐軍の目をまどろかす意匠を施せないで「うか」という当時の運輸省の人の声から作られたという。

近頃で見るとすごい追カ

おま、日比谷線の地下道を進み、いよいよ銀座駅だ。



「地下鉄の父」早川徳次さんの銅像でした。

ゴールの銀座駅でボクを待っていてくれたのは、なんとあなただ...

おつかれおさま!

会いたかった! 知らなかったけど...

1927年にアジアで最初の地下鉄を開業。今日の地下鉄時代の礎を築いたすごい人。

総探検時間 5時間半。歩いたキリは約10km。久しぶりに地上に出ると、いつものまにか外はもう夕暮れ。

デハ地下でおいしいパンを食べて帰りました。

完

**Vol.13**  
トイレマーク

直線だけで表した  
クールなデザイン

暗がりの横丁で  
インパクト大の  
手描きアート

有楽町のガード下にある「有楽町産直飲食街ぶなか横丁」では、アートな女性トイレの目立ちっぷりが素敵だ。  
MAP P26 C-1

シンプルにとことん  
そぎ落としした  
象形文字風

「有楽町マルイ」は、シンプルな線だけで表現。アート&上質な風情がファッションナブル!  
MAP P26 C-1

江戸の歴史を  
今に伝える  
最新の道

かつては  
天皇と貴賓の  
専用道路だった

かつては  
天皇と貴賓の  
専用道路だった

江橋川沿いには、かつて多彩な河岸があった。その歴史を通り名として2012年に復活。竹商人が集まっていた「京橋竹河岸通り」のほか、「京橋大根河岸通り」もある。  
MAP P26 C-2

丸の内駅舎を  
見上げると  
屋根に手が……

丸の内駅舎を  
見上げると  
屋根に手が……

屋根からちらりとぞき見えるのは、神の依り代である横綱の両手。正対する皇居におわす、天皇への敬意を表したと伝わる。  
MAP P26 B-2

かつては  
天皇と貴賓の  
専用道路だった

関東大震災の復興再開発で、1926年(大正15)に皇居と東京駅を結ぶ「行幸通り」が開通。中央の道は、天皇の行幸や、外国大使の専用道で、一般の車は立ち入り禁止だったそう。  
MAP P26 B-1

胴体も光る  
直線街灯

どこか風流な  
虫かご街灯

八重洲口にある北町奉行所跡。間に沈んだ緑に埋もれるように、ひっそりと灯る。灯りに釣られて集まった虫たちの合唱が聞こえてきそう。  
MAP P26 B-2

言われて初めて気づく、街の微細な魅力

裏エキマチ Vol.8~Vol.15

一気に総ざらい!

マンホールや郵便ポストにトイレマーク……。日常何気なく見ているものでも、よく見ると形状にこだわりがあったり、デザインが個性的だったり、千差万別。「東京エキマチ」の連載でも、実はファンが多い「裏エキマチ」を8号分ドドンとまとめてみました!

**Vol.15**  
階段

密やかに  
しつぽりと。  
情緒ある石畳と  
幅広ステップ

2階への  
道のりは遠い?  
長い  
ギザギザ  
ステップ

「東京サンケイビル」の裏手に隠れるように続く外階段。叙情的な石畳を歩いても、その先は行き止まりだ。  
MAP P26 A-2

地下鉄入り回は  
野外演舞場  
のような  
華やかさ

地上から宙へと続くように見えるが、実は「東京国際フォーラム」のピア&レストラン「レバンテ」へとつながる。  
MAP P26 B-1

地下鉄日比谷駅B9出口でもある「日比谷マリンビル」。日比谷の空を借景に、リボン柄の床、シンメトリーな階段が華麗だ。  
MAP P26 C-1

**Vol.14**  
個性派ベンチ

モダンアートな  
赤三角に  
目が釘付け

せせらぎと  
庭を眺める  
ウッドディーナ  
ベンチ

「八重仲ダイニング」吹き抜けのステップテラスに一本の樹木を囲む、抽象画的赤いベンチが映える。江戸の粋を赤で表す。  
MAP P26 B-3

名水の地らしい  
清涼スケルトンの  
ガラスブロック  
ベンチ

「ホトリア広場」の「おもてなしの庭」を眺めるのうってつけ。板を張り合わせたベンチで、くつろぎ感抜群!  
MAP P26 A-1

「COREDO日本橋」裏に2つ並ぶ、ガラスブロックベンチ。名水白木屋の井戸があった地で清涼感あり。  
MAP P26 B-3

**Vol.11**  
郵便ポスト

郵便発祥の地の  
記念ポスト

風景印ももらえる  
駅舎付きポスト

郵便制度制定100周年を記念して、みんなで地球を支えるオブジェ付き、グレーの特殊なポストが登場。  
MAP P26 B-3

優雅な東京駅舎をかぶるポストが、東京駅丸の内中央口改札内に立つ。東京駅の風景印を希望する場合は、専用投函口に入れば、オッケー。  
MAP P26 B-2

かわいく並ぶ  
双子のポスト

八重洲地下街郵便局脇で仲良く並ぶ同型のツインス。どちらかに投函するか、つい悩まそう。  
MAP P26 B-2

**Vol.10**  
地表に注目

カエルが棲める  
清流を目指せ!

日比谷シャンテ付近の足元には、「CHIYODA Yes, We love.」の文字が。穴あき状の側溝の蓋から、ひそかに愛を叫んでいる。  
MAP P26 C-1

汽車&馬車に  
時代を感じる

1号機関車(国鉄150形蒸気機関車)と、馬車鉄道が描かれているのは、下水道のマンホール。馬車の原画は浮世絵師・歌川芳村の「東京鉄道馬車図」。  
MAP P26 C-1

「SEWERAGE in TOKYO」とは東京の下水道のこと。1987年に下水道の都内総延長が1万1766kmに達したことを機に、蓋にカエルが登場。  
MAP P26 C-1